

2012年12月4日

東京急行電鉄株式会社  
株式会社 東急百貨店

## 高層複合施設「渋谷ヒカリエ」 来館者数、 年間目標の1,400万人を突破！



東京急行電鉄(以下、東急電鉄)が本年4月26日(木)に開業した、渋谷駅直結の高層複合施設「渋谷ヒカリエ」は、開業223日目となる12月4日(火)に、来館者数が年間目標の1,400万人を突破しました。

11月21日(水)から全館でクリスマスプロモーションがスタートし、食・アート・雑貨・エンターテインメントと、幅広いラインアップで来館者数をさらに牽引しています。

来館者数1,400万人突破にあたり、東急電鉄 取締役社長 野本弘文および東急百貨店 取締役社長 二橋千裕は以下のようにコメントしました。

東急電鉄 取締役社長 野本弘文

「渋谷開発のリーディングプロジェクトである渋谷ヒカリエが、本日、年間来館者目標の1,400万人を突破した。今後も、文化やエンターテインメントが集まる渋谷の街の象徴として、最先端の情報発信を行っていきたい。来年3月には東横線と東京メトロ副都心線の相互直通が開始されるなど、今後も変わり続ける渋谷にぜひご期待ください。」

東急百貨店 取締役社長 二橋千裕

「渋谷ヒカリエShinQsは、これまで渋谷をあまり利用することがなかった感度の高い大人の女性を取り込むことが出来ている。今後も独自性や新しさを追求した品揃えで、渋谷の街の魅力向上に貢献していきたい。」

ShinQsは、夕方以降ターゲットである大人の女性などの来館者が引き続き増加しています。なかでも自主編集売場の「ShinQsパーツジョイスト」「ShinQsシューズカレイド」は、Zakkaの強化と独自の品揃えが支持され、来館者数を牽引しています。

6・7・11Fの飲食店舗は、ShinQsや東急シアターオーブなどの館内各施設の来館者の利用が多く見られるほか、上層階のオフィスワーカーの利用も増加するなど、複合施設ならではの強みを発揮し、各店舗とも堅調に推移しています。

8Fのクリエイティブスペース「8ノ」では、フロア中央のCOURTにて魅力溢れるイベントを定期的  
に開催しているほか、駅直結でアートを気軽に楽しめるフロアとして、リピーターを多く獲得して  
います。

今後も渋谷の新たなランドマークとして多くの情報・文化を発信していく「渋谷ヒカリエ」に是非ご  
注目ください。

以上